

18 交通安全対策の推進について

(財務省、内閣府、国家公安委員会、警察庁、国土交通省)

【提言の内容】

- (1) 高齢者の交通安全教育の徹底、交差点における事故防止、自転車の安全利用、全席シートベルト着用に関する広報啓発活動などの交通安全対策に係る財源の確保について、一層強化充実を図ること。
- (2) 新たな社会資本整備重点計画に基づく特定交通安全施設等の整備を計画的かつ着実に推進するため、必要な財源を確保すること。
- (3) 誰もが簡単に移動でき、かつ、安全で円滑な交通の確保を目指し、歩行者・自転車優先の道づくり、歩行空間のバリアフリー化を促進するとともに、ITCS（高度交通管制システム）等のITS（高度道路交通システム）の整備充実を図ること。

(背景)

- 本県では、「高齢者対策」「歩行者・自転車利用者対策」「悪質・危険運転者対策」「被害軽減対策」等を重点に人優先の交通社会の実現、交通事故のない安全・安心な交通環境の創造に努めているところである。
- その取組の結果、交通事故死者数は着実に減少しているものの、4年連続全国ワースト1位となっており、交通安全対策の推進は本県における重要かつ喫緊の課題である。
- とりわけ全事故死者数の約半数を占める高齢者に対する安全教育が重要であるほか、交差点事故の多発を踏まえ交差点の危険性の周知、自転車の安全利用や全席シートベルト着用の徹底など、広報啓発活動等の取組の強化が必要である。
- 平成20年度から始まった新社会資本整備重点計画に基づき、交通安全施設等整備事業の継続的な推進が不可欠である。中でも、本県は、他の大都市圏と比べ、安全かつ円滑な道路交通環境の実現に資する信号機の高度化率が低調であることから、その高度化を図るほか、道路標識・道路標示の整備を推進し、的確な交通管理を図っていく必要がある。
- また、安全で快適な道路交通環境の実現はもとより、地球温暖化の防止など様々な観点から、交通流・量の変動にきめ細かに対応した信号制御等を可能とするITCS等のITSの整備を推進していくことが必要である。

(参 考)

1 愛知県の交通事故の推移

	H 1 6	H 1 7	H 1 8	H 1 9	H 2 0
交通事故死者数	368 人 (2 位)	351 人 (1 位)	338 人 (1 位)	288 人 (1 位)	276 人 (1 位)
うち高齢者の死者数	134 人	133 人	142 人	122 人	126 人
うち高齢者の割合	36.4%	37.9%	42.0%	42.4%	45.7%
交通事故負傷者数	76,168 人	73,832 人	71,143 人	68,241 人	64,657 人
人身事故件数	61,707 件	60,081 件	58,005 件	55,604 件	52,719 件
死亡事故に占める 交差点死亡事故件数	181 件 (50.7%)	172 件 (51.2%)	175 件 (53.4%)	136 件 (48.6%)	162 件 (60.2%)

2 主な都道府県の信号機高度化率（平成20年度末）

区分	全信号機	集中制御	系統制御	感应制御	高 度 化	
					集+系+感	率 (%)
愛 知	12,966	4,247	3,156	113	7,516	58.0
東 京	15,508	7,799	766	485	9,050	58.4
神 奈 川	9,388	4,596	1,171	245	6,012	64.0
大 阪	11,706	5,035	1,729	403	7,167	61.2
全 国	197,958	70,371	26,012	15,048	111,431	56.3



高齢者に対する交通事故防止キャンペーン
【豊川市：豊川稲荷】



幼稚園における交通安全教室の様子